

豪ドル相場は年末に1豪ドル=87円予想*

* 2022年3月4日時点のブルームバーグコンセンサス値

- 豪ドルの対円相場の動きは、基軸通貨である米ドルを中心に「**豪ドルと米ドルの関係**」と「**米ドルと円の関係**」によって決まることを理解することが重要です。
- 足元、ロシアによるウクライナ侵攻や米国の利上げ懸念等により変動が大きい環境ではありますが、2022年末の豪ドル円は、豪ドル高（円安）が進み、1豪ドル=87円の市場予想となっています。

【例】2022年末の市場予想レート

$$\boxed{\begin{matrix} \text{豪ドル (対円)} \\ 87\text{円} \end{matrix}} = \boxed{\begin{matrix} \text{豪ドル (対米ドル)} \\ 0.75\text{米ドル} \end{matrix}} \times \boxed{\begin{matrix} \text{米ドル (対円)} \\ 116\text{円} \end{matrix}}$$

(出所) ブルームバーグ ※上記市場予想は2022年3月4日時点
 ※上記は、クロスレートの考え方を単純に示したイメージ図であり、
 各為替の値については必ずしも一致するものではありません。

豪10年債は年末に2.3%まで上昇と予想*

* 2022年3月4日時点のブルームバーグコンセンサス値

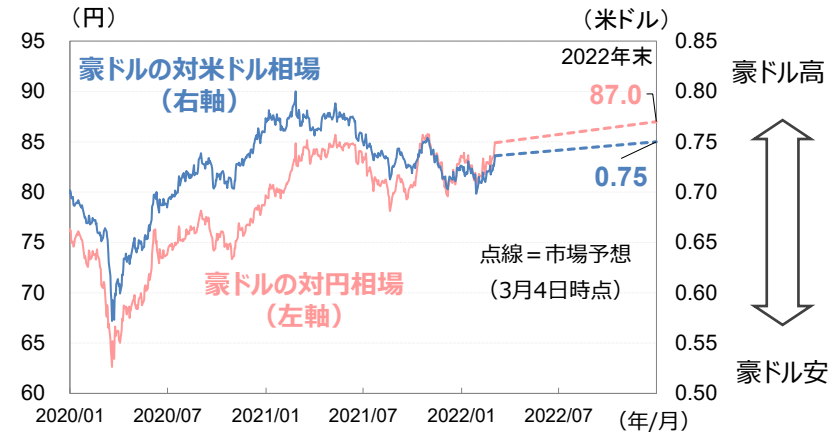
- 為替の動きを見るうえで、金利の動きも重要です。3月4日時点で豪州10年債利回りは2.15%に対し、米国10年債利回りは1.73%となっています。
- 米国、豪州ともに年内利上げが行われると予想されていますが、市場の見通しでは2022年末の豪州10年国債利回りは2.33%と、米国に比べ高い水準にあります。相対的に高い利回りは豪ドル相場の下支え要因となりそうです。

上段、下段グラフ：(出所) ブルームバーグ (期間) 2020年1月初～2022年3月4日



**豪ドル円は「豪ドルと米ドルの関係」と「米ドルと円の関係」が重要。
 米国と比較し相対的に高い豪州利回りは豪ドル相場の下支え要因。**

豪ドル相場（対米ドル・対円）の推移と市場予想



豪米10年債利回りの推移と市場予想



**次号はRBAが考える
 利上げの条件をご紹介します**